

藤岡北中 3賞を獲得

全国小中高・通信コンクール

全国の小中高校の各種通信を対象にしたコンクール「第7回プリントコミュニケーションひろば」で、藤岡市の北中（中村裕子校長）が学校奨励賞をはじめとした三つの賞を獲得した。主催する理想教育財団（東京都港区）は「極めて珍しい。学校全体で各種通信活動が盛んな証し」と高く評価している。



学校奨励賞をはじめとして三つの賞に輝いた藤岡北中。右から折茂教諭、中村校長、飯野教頭

コンクールは、学校と保護者、地域とのよいコミュニケーション環境づくりを目指し2004年に始まり、今回は全国から470点（うち本県26点）の応募があった。

北中が受賞したのは優秀、優良の両賞に次ぐ「ひろば賞」、教諭経験5年以内の「新人賞」、学校単位を対象とした「学校奨励賞」。

同校は学年通信や学級通信、部活動通信を盛んに発行しており、

中村校長は「受賞を励みに今後も生徒や保護者の心に届く『通信』づくりに努力していきたい」と話している。

学生視点から本県馬の文化について語って

群馬のありべき

県と高経上

友岡邦之准教授が司会を担当。「文化」

地域の活性化を目的に毎

6日は